

# 黒岩探訪

たんぼう

8

KUROIWA  
くろいわ

機足の由来を語る織姫塚

今回取り上げるのは「機足」です。黒岩カルタに、標題のようにうたわられています。七月六日に七夕集会があり関連して「機足」の話をしました。黒岩探訪に掲載するには絶好の機会です。今回は地名の「機足」、古墳の「機足塚」について記します。七夕集会では、各児童が書いた短冊の願いごとの発表や企画委員による七夕にまつわるクイズがありました。

も工夫さ  
れて楽し  
い時間を  
過ごせま  
した。そ  
の事で、  
行事の由  
来や織姫  
の話もあ  
ります。ま  
た。きま  
して「機



写真1 七夕集会願いごとの短冊



写真2 黒岩カルタ「は」の原画



写真3 現在の機足坂



写真4 機足坂頂上の「藤塚」

「足」という地名についてです。群馬の歴史学で有名な、尾崎喜左雄先生は「群馬の地名」昭和五年発行の中で次の記述を残しています。「甘楽郡に行った折に、「機足坂」という地名を見付けてびっくりした。そしてなつかしかった。それは地名だけではなく「はたあし」という言葉が使われていたからである。織姫の伝説もあつた。この伝説の起りである、古墳から織姫を発掘したものであろう。」

黒岩探訪1で触れた昭和三年刊行の「北甘楽郡史」では、「機足坂頂上にある藤塚稲荷神社の下方に機足塚といふ小塚あり」とされています。また、昭和十三年の古墳調査の集大成の「上毛古墳総覧」では、黒岩村第三号古墳（機足塚）の大きさは直径三尺（約十メートル）高さ一〇尺（約三メートル）備考欄に「貫前神社ノ機織具ヲ織姫ト共ニ埋メシトイフ」と記載されています。想像するに機足の由来は、この地にあつた古墳から織り機の一部が確認されたことによるのではなからうか。そしてその塚は機足塚と呼ばれたのでしよう。後世に伝えられた織姫の伝説として後世にメートルほどの古墳形状を残しています。